

Kawasaki College of Health Professions

川崎医療短期大学

学報 No.113

特集

看護学科学外研修

- 学長巻頭言
- 医療介護福祉学科 実習開始式・公開講座
- キラリ賞/学友会活動
- 放課後キャンパスツアー/短歌受賞/協定会報告
- 補助金・助成金/国家試験結果と進路状況/  
新任教職員紹介/インフォメーション

看護学



## 学長巻頭言

# 緑あふれる岡山キャンパスで 地域とともに



## 学長 秋山 祐治

2023（令和5）年9月1日に、医療短大校舎棟に隣接する川崎医科大学高齢者医療センターが開院しました。工事期間中にご不便をおかけした学生、教職員並びに来校者の皆さまには、紙面をお借りしてご協力に感謝申し上げます。川崎医科大学附属病院、同総合医療センターに次ぐ第3の教育実習施設の完成は、“臨床に強い医療福祉人”を養成する本学の実習環境の充実に結びつくだけでなく、超高齢社会における地域医療の課題解決にもつながっていきます。学生が完成した岡山キャンパスで多くのことを学び、地域医療に貢献できる人材になれるようこれからも支援していきたいと思えます。

ところで、高齢者医療センターと校舎棟の間をつなぐ校庭には、工期後半から数多くの木々や花々が植栽され、校舎棟の4階ラウンジまで届きそうなシンボルツリーから足元の遊歩道を彩る草木まで、想像していた以上の緑にあふれています。梅や桜の木々に囲まれた松島キャンパスと異なり、無機質なビルに取り囲まれた新校舎棟でしたが、夏の日差しを和らげるとともに、街なかにながら自然を感じられる癒やしの空間が完成しました。この庭の名称を学園教職員並びに本学の学生を対象に募集した結果、「こもれびの校庭」に決まりました。今後は学生の声も聞きながら、この緑あふれる空間をイベントの開催などで有効に活用していきたいと考えています。

医療短大の近隣では、同じく9月1日に岡山芸術創造劇場ハレノワが開館しました。岡山の新たな文化芸術の発信拠点として期待される同劇場は、大型商業施設を有する駅前地域と比較されてきた表町地域の活性化に向けた起爆剤としても期待されています。回遊性が高まり魅力を増す市内中心地域に立地する本学も、様々な形で地域貢献を行っています。

今年度の第1回公開講座では「健やかに生きるため

には？～生活習慣病や腎臓病の予防と日常生活の注意点～」と題して、医療介護福祉学科の杉山教授にお話しいただきました。第2回は「冬の大敵!! 「ヒートショック」から身を守るためにできることー安全な入浴方法とはー」と題して、看護学科の榎本教授、熊野准教授からお話しいただく予定です。昨年度に引き続き、地域住民の関心の高いテーマで開催しています。また、表町・中山下地域での清掃ボランティア活動には、学生部・校友会メンバーを中心に参加しているほか、今後も各種イベントへの参画を検討中です。一方で、これから本学に入学を希望する生徒さんに向けては、「いってみよ！放課後キャンパスツアー in 岡山キャンパス」を開催しています。気軽に放課後ちょっと寄り道してみる感覚で新しいキャンパスを覗きにきていただき、本学の魅力を伝えていきます。

岡山市内には看護学科が学外研修を行った後楽園のほかにも、半田山植物園や西川緑道公園など多くの緑地がありますが、深柢ガーデンとともに新たな自然空間が加わった岡山キャンパスへ、遠慮なくお立ち寄りください。街なかの森とも言える心地よい空間でお待ちしています。



# 医療介護福祉学科トピックス

## 実習開始式

6月10日(土)に大講義室で、2023年度介護実習開始式を開催しました。この式は、医療介護福祉学科2年生が6月19日(月)から始まる3週間の施設実習を前に、介護福祉士の道に進む決意を表明する式です。今年度は保護者の方にもご列席いただき、学生の成長を見ていただきました。最初に、医療介護福祉学科の山田順子学科長から、「利用者さんとの貴重な時間を大切に、介護の楽しさを体験してください」との話がありました。その後学生たちは、それぞれの介護観を実習に臨むにあたっての宣誓という形で表明しました。「利用者さんの想いを尊重した関わりをしたい」「利用者さんにとって安全安楽な介護技術を実践したい」などの言葉からは、これまで学んできた知識と技術を実践に生かしたいという意気込みが感じられました。3年生からは、自身の実習体験を踏まえて、「これから出会う利用者さんとの関わりから学ぶことを大切にしてほしい」という激励の言葉が送られ、続いて、2年生一人ひとりに3年生から花束が贈られました。

式典後の特別講演として、淳風福祉会 特別養護老人ホーム若宮園の沖中 純子介護指導主任から、実習生としての利用者さんとの関わり方や心構え、意欲的に自分で考えて動く力の大切さについて、お話をいただきました。学生たちは、初めての集中実習に向けて、利用者さんに想いを馳せ、介護福祉士を志す決意を新たにすることができました。

(医療介護福祉学科 時弘 里紗)



2023年度

第1回

## 公開講座報告

7月15日(土)午前10時から大講義室で「2023年度第1回公開講座」を開催し、77名の方々にご参加いただきました。

今回の公開講座では「健やかに生きるためには?～生活習慣病や腎臓病の予防と日常生活の注意点～」をテーマに、医療介護福祉学科教授 杉山 斉が講演しました。生活習慣病とはなにかについて、糖尿病や高血圧の説明から始め、生活習慣病から腎臓病を発症する人が増えていること、腎機能を知るには血液検査でGFR(糸球体濾過値)を測定すること、腎臓病になると腎不全から透析療法や腎移植が必要になり、腎臓病から心血管疾患を発症するリスクが高まることなどをお話ししました。そして、腎臓病にならないための注意として、尿検査を受けて早期発見し、血圧を測定して日常の健康管理に役立てることの重要性を強調しました。また、食事の注意点、運動療法の効果や注意点、腎臓病治療の要点などを具体的に説明し、最後に腎臓病



予防の重要な因子、すなわち食事、運動、適正体重の維持、血圧・血糖・脂質管理、禁煙を示し、「バランスの良い食事、適度な運動で健康な生活習慣を維持してあなたの腎臓を守りましょう。」という言葉で締めくくりました。その後の質問の時間では、具体的な運動内容や食事の味つけ方法など、多くの質疑を頂き、皆様の関心の高さを感じました。

今後も、公開講座を通じて医療についての正しい知識を提供することにより、地域貢献につとめて参りたいと思います。

(医療介護福祉学科 杉山 斉)

2023年度 川崎医療短期大学 第1回公開講座 **参加無料**

### 健やかに生きるためには?

～生活習慣病や腎臓病の予防と日常生活の注意点～

病気の予防、早期発見の方法や日常生活で注意することはなかなかわかりやすくお伝えします。

日 2023年7月15日(土) 10:00～11:30

川崎医療短期大学 大講義室 高崎市中央区山下二丁目1番70号

高校生・一般・福祉関係者

100名 (定員超過は抽選となります)

杉山 斉 (医療介護福祉学科 教授)

参加費 無料

運動不足、ストレス、過食、過労、喫煙、飲酒、塩分過多

生活習慣病の原因

この生活習慣を身につけていると...

糖尿病、高血圧性疾患、心疾患、脂質異常症、腎臓病(CKD)



# 特集 看護学科 令和5年度新入生学外研修 岡山後楽園

## フォトコンテスト・スケッチ・クイズ大会

4月22日(土)に、看護学科1年生の学外研修を日本三名園の一つである岡山後楽園で行いました。当日は天候にも恵まれ、学生たちはグループに分かれて園内を散策しながら親睦を深めることができました。学生間の交流と、県外出身の学生に岡山県のことをより深く知ってもらうことを目的として、グループ対抗超難問岡山後楽園クイズ大会やスケッチ大会を行いました。また、後楽園の良いところを発見してもらうために、フォトコンテストを行いました。



岡山後楽園で開催した看護学科1年生の学外研修で、学生たちは、グループ対抗の超難問岡山後楽園クイズ大会やスケッチに挑戦しました。また、個人で自由に参加できるフォトコンテストも行いました。

クイズはかなり難問でしたが、「ほっかぼかメンツチーム」が全問正解で優勝しました。スケッチと写真については、1年生担任団で優秀な作品を決定しました。後楽園の景観を様々な角度から撮影した写真は、色や光、構図などに工夫を凝らして上手に撮影しており、あらためてその素晴らしさを伝えてくれるものばかりでした。選考は難航しましたが、56点の写真の中から、担任団全員一致で仲井 夏菜さんがグランプリに決定しました。スケッチは、グループで工夫を凝らした作品や、後楽園の情景をうまく描いた作品を選びました。学外研修を通して学生同士の仲間意識が芽生え、楽しく有意義な時間を過ごしたことが随所で感じられる良い研修となりました。(看護学科1年生担任 三宅 映子)

## フォトコンテスト・スケッチ大会入選作品

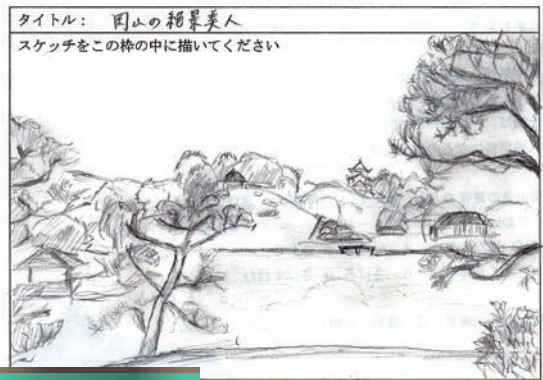


フォトコンテスト

グランプリ

仲井 夏菜

作品名: 沢の池と岡山城



タイトル: 岡山の絶景美人  
スケッチをこの枠の中に描いてください

スケッチ大会

第1位

恋する乙女♡♡ チーム

タイトル: 岡山の絶景美人

このたびはフォトコンテストでのグランプリ、スケッチ部門での1位を受賞できてとてもうれしく思います。雲ひとつない青空だったため、それを生かして水面に反射する空や植物がきれいに見えるよう意識して撮影しました。また、真ん中に岡山城がさりげなく見えるのもポイントです。右下の赤い花が差し色になっています。これを際立たせるために、全体の彩度をあげて、映えるように工夫しました。写真と同じような構図でスケッチもしました。濃くはっきりとした線とぼかしを入れることで、濃淡や木々の葉を表現しました。



フォトコンテスト



脇島 加奈

作品名: 花葉の池

散策中にこの景色を見つけ、とてもきれいだと思って写真を撮りました。池は花葉の池、池に架かっている橋は栄唄橋、全体を覆っている木はヤエベニシダレという「しだれ桜」の一種だそうです。周辺には色々な形をした庭石が配置されていました。少し前には紅色のしだれ桜が満開に咲いていたことがわかりました。この時は、初夏の陽光を浴びて、若葉がきらきら光っていました。ふとした瞬間に撮った写真が受賞できてとてもうれしいです。





## フォトコンテスト



準特選

柏木 千里、斎藤 叶歩

作品名：恋と鯉を掛けまして



初対面の人が多いグループの活動で始まった学外研修は、楽しみでもあり、また、メンバーの人たちと仲良くなれるかどうか不安でもありました。しかし、一緒にクイズを解きながら後楽園を回っているうちに意気投合し、楽しい時間を過ごすことができました。フォトコンテストの写真を撮る場所を探していたところ、「恋みくじ」を見つけてみんなで引きました。ちょうど近くの池に鯉が泳いでいたため、恋と鯉を掛けた写真にしてみました。友達が出来たことが何より楽しい思い出となりました。



## フォトコンテスト



入選

藤原 海稀

作品名：後楽園 Wedding

この写真は、園内を歩く花嫁花婿さんの一行を唯心山から撮影したものです。私は、この光景を見た瞬間、自然と手が動いてシャッターを切っていました。グループの人たちも同じでした。今でも後楽園での学外研修のことを思い出すたびに、真っ先に出てくるのがこの光景です。忘れられない光景となった写真が入選し、とてもうれしく思っています。

## フォトコンテスト



入選

宗廣 真那美

作品名：  
後楽園からの岡山城



この写真は、私が初心に戻ることができる最高の1枚です。新緑の美しい後楽園を回りながら、写真を撮ったり、グループのメンバーと高校のことや部活動のことを話したりしました。それまであまり話したことがない人とも話すことができ、他のクラスの人とも友達になることができました。この写真を見るたびに、後楽園の風景と楽しかった気持ちを思い出します。

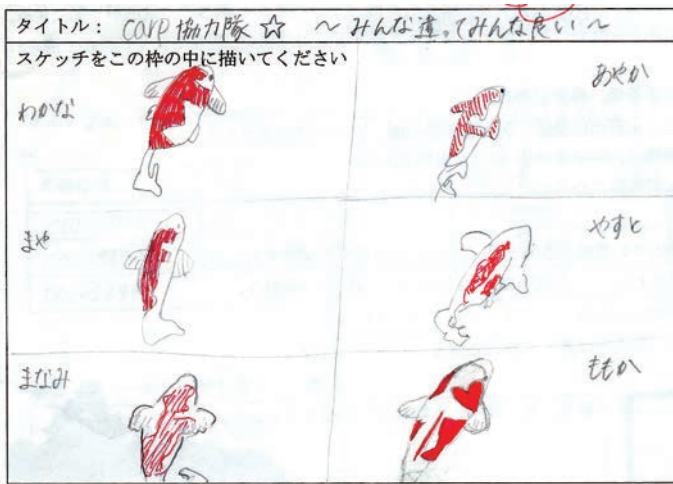
## クイズ優勝

ぼっかぼかメンツ チーム

(江角 彩華、木村 麻椰、白神 愛実、西谷 和佳奈、堀 桃香、吉岡 康仁)

タイトル：Carp 協力隊☆～みんな違ってみんな良い～

クイズに全問正解で優勝でき、皆で描いた「鯉」のスケッチが評価されたことを大変うれしく思います。出来上がったスケッチは、線の描き方や色の使い方など、メンバーそれぞれに個性がありました。それが「ぼっかぼかメンツ」という私たちのチーム名の由来にもなっています。入学してから日も浅く、面識のなかったメンバーもいましたが、クイズを解くために全員が力を合わせ、とても仲良くなることができました。岡山後楽園での学外研修は、最高に楽しい思い出になりました。(リーダー 江角 彩華)



## 2022年度 年間キラリ賞表彰式



4月6日(木)に2022年度年間キラリ賞の表彰式が行われました。この賞は、学業に優れるだけでなく、様々な社会活動を通して社会人基礎力を身につけた医療福祉人として他の学生の模範となるような学生に贈られています。昨年度の活動を評価し、各学科・各学年の上位2%の学生が選出されました。昨年度の3年生は卒業前に表彰式が行われたため、今回は昨年度の1年生、2年生を表彰しました。

式では秋山 祐治学長より表彰状と副賞が授与され、「今後も他の学生とともに地域社会などで活発に活動し、社会人基礎力を向上させてほしい」とのお言葉がありました。

(学生部副部長 黒田 裕子)

### 看護学科

1年生	板垣 萌果 守時 光美 芦田 愛瑠	2年生	武内 真衣子 家原 萌々子 桑原 遥香
-----	-------------------------	-----	---------------------------

### 医療介護福祉学科

1年生	上山 友貴美	2年生	内田 優里
-----	--------	-----	-------

\*2022年度の学年で表記しています。

## 学友会活動(前期)

### スポーツ大会

5月20日(土)に松島キャンパスの体育館でスポーツ大会を開催しました。今年の種目はバレーボールで、12チーム 約130名が参加し、トーナメント戦を行いました。今年度初めての全学的な行事であり、どのチームも上位入賞を目指して、白熱した戦いを繰り広げました。学友会の皆さんをはじめ、準備の段階から当日まで、ご協力と熱い応援をくださいました教職員の皆さま、ありがとうございました。スポーツの力で、クラスの団結力や絆も強くなったことと思います。

(学生生活支援委員会 掛屋 純子)



### 七夕祭り



7月1日(土)に七夕祭りを開催しました。1週間前からエントランスと4階ラウンジに笹を飾り、学生たちが願い事を書いた短冊を吊るしました。当日は約60名の学生が参加し、4階ラウンジと屋上庭園で縁日を開きました。割りばしで作ったゴム鉄砲や新聞で作った輪を使って、射的、輪投げ、お菓子すくいなどを楽しみました。最後は全員で宝さがしをしました。2階、3階に隠されたお宝くじのなかにはなかなか見つからないものもあり、参加者はくじを探して学内を駆け回りました。当選発表では、くじの番号が呼ばれるたびに大きな歓声があり、梅雨空を吹き飛ばすような、元気で笑顔あふれるお祭りになりました。

(学生部副部長 黒田 裕子)



## いってみよ！放課後キャンパスツアー

高校生や保護者を対象に本学の魅力を知ってもらうために、今年度も放課後を利用したキャンパス見学ツアー（4月～11月まで計20回予定）を開催しています。このツアーでは、授業や看護・介護の技術演習、キャンパス内での学生の様子などを見学してもらっています。8月末までに8回開催し、高校生17人、保護者7人、高校教員1人の参加がありました。参加者からは、実習や大学生活などについて多くの質問があり、在学生に受験対策について熱心に尋ねる姿も見られました。参加後アンケートには「放課後は都合が付きやすく行きやすかった。少人数で対応してもらえて分かりやすかった」という感想がありました。学内を実際に見ていただくことで、本学への関心や興味を喚起し、魅力を感じていただける有意義なイベントになっています。

（広報活動推進ワーキンググループ 阿部 裕美）



### ◇日本語に関する取り組み◇

## 短歌受賞のお知らせ

2022年度第28回「前田純孝賞 学生短歌コンクール」（兵庫県新温泉町などが主催、選者は歌人の佐佐木 幸綱さん）に、「文章表現」受講の看護学科の学生が応募し、3人が入選しました。受賞者とその作品は次の通りです。

憧れのフライトナース目指すため人込みの中電車に揺られる  
 準前田純孝賞 看護学科2年 難波 志帆

病棟でバイトしながら考える未来の私どんな看護師  
 新温泉町長賞 看護学科2年 芦田 愛瑠

憧れの母の背を追い看護師の道に踏み出す今が始まり  
 新温泉町教育長賞 看護学科2年 小川 莉奈



## 協会報告

### 令和5年度 川崎医療短期大学 協会役員

会長 宮崎 由佳（看護学科3年）  
 副会長 戸田 佑紀子（看護学科2年）  
 副会長 秋山 祐治（川崎医療短期大学学長）  
 監事 横山 功（医療介護福祉学科3年）  
 監事 山下 潤（医療介護福祉学科1年）  
 評議員 光畑 美希（医療介護福祉学科2年）  
 評議員 西 美由紀（看護学科1年）  
 他 学内評議員5名

### 令和4年度収支決算書及び令和5年度収支予算書

4月4日の入学式終了後に開催された令和5年度協会総会において、下表の令和4年度収支決算書及び令和5年度収支予算書が承認されました。これにより、今年度も学生の皆さんの学習、福利厚生、学生生活及び進路等に関する諸活動についての支援が行われます。

#### 令和4年度 川崎医療短期大学協会収支決算書

一般会計		(円)	
収	入	支	出
会費	3,840,000	学生研修助成費	476,690
前年度繰越金	4,705,150	厚生福利費	431,731
雑収入	0	学生生活指導費	1,076,000
		進路指導助成費	500,000
		渉外費	0
		事務費	49,035
		雑費	3,520
		予備費(抗原抗体検査助成費)	374,528
		予備費(コロナ対策経費)	226,410
		次年度繰越金	5,407,236
合計	8,545,150	合計	8,545,150

特別会計		(円)	
収	入	支	出
前年度繰越金	7,003,541	プロジェクター設置費用	690,250
雑収入(預金金利)	139	次年度繰越金	6,313,430
合計	7,003,680	合計	7,003,680

#### 令和5年度 川崎医療短期大学協会収支予算書

一般会計		(円)	
収	入	支	出
会費	3,150,000	学生研修助成費	1,570,000
前年度繰越金	5,407,236	厚生福利費	1,255,000
		学生生活指導費	1,043,000
		進路指導助成費	660,000
		渉外費	100,000
		事務費	100,000
		雑費	7,000
		予備費	3,822,236
合計	8,557,236	合計	8,557,236

特別会計		(円)	
収	入	支	出
前年度繰越金	6,313,430	次年度繰越金	6,313,560
雑収入	130		
合計	6,313,560	合計	6,313,560

※特別会計は、教育・実習のための施設設備及び学生のために特に必要なものを備えることを目的とした積立金です。

## 主要行事 (9月～3月)

9月	19日	防災訓練
	//	医療介護福祉学科3年地域介護実践実習 (～10/20)
	20日	医療介護福祉学科 ノーリフティングケア研修
	21日	後期授業開始
//	前期末卒業証書・学位記授与式	
10月	7日	総合型選抜入試
	21日	学園祭・オープンキャンパス (医療福祉大学にて) (～22日)
	23日	医療介護福祉学科2年介護実習Ⅱ (～11/24)
	28日	看護学科2年進級式・保護者会
11月	11日	第2回公開講座
	17日	看護学科2年基礎看護学実習Ⅱ (～12/9)
	18日	学校推薦型選抜前期入試
	28日	医療介護福祉学科1年介護実習Ⅰ-2 (～12/21) (毎週火～木曜日)
12月	13日	学校推薦型選抜後期入試 (～14日)
	16日	学生会クリスマスイベント
1月	13日	医療介護福祉学科2年実習事例報告会
	15日	看護学科1年基礎看護学実習Ⅰ (～20日)
	20日	川崎学園防災の日
	25日	後期定期試験 (看護学科最高学年～27日)
	28日	第36回介護福祉士国家試験
2月	1日	一般選抜前期入試 (～2日)
	3日	後期定期試験 (医療介護福祉学科最高学年～6日)
	5日	後期定期試験 (～16日)
	10日	医療介護福祉学科2年保護者会
	11日	第113回看護師国家試験
	19日	在学生健康診断 (20日・21日)
24日	創立50周年記念式典	
3月	9日	一般選抜後期入試
	16日	卒業証書・学位記授与式
	24日	3校合同オープンキャンパス
	27日	看護学科2年生健康診断(レントゲン撮影・尿検査) (～28日)

## 2023年度 補助金・助成金の採択状況

研究代表者	看護学科 掛屋 純子
名称	科学研究費助成事業 若手研究 『前立腺がん患者のService Gap尺度の開発と信頼性・妥当性の検討』
研究代表者	医療介護福祉学科 常国 良美
名称	科学研究費助成事業 基盤研究(C) 『成人期以降の在宅重症心身障がい者を介護する家族の望み看取りを促す看護実践プロセス』
研究代表者	看護学科 河畑 匡法
名称	一般社団法人 日本私立看護系大学協会 若手研究者研究助成 『コロナ禍での臨地実習における短期大学生の自己調整学習および社会的スキルと実習適応感との関係』

## 川崎医療短期大学学報

### 「若きいのち」(113号)

2023年9月発行

編集発行：広報誌等作成ワーキンググループ

熊野 一郎 (看護学科・責任者)

見尾 久美恵 (看護学科)

時弘 里紗 (医療介護福祉学科)

小池 香里 (事務室・書記)

写真協力：二葉写真館

編集：友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒700-0821 岡山市北区中山下二丁目1番70号

TEL 086-201-5333 (代表)

Eメール: kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ <https://j.kawasaki-m.ac.jp>

## 2023年度

## 公開講座



### 申込方法

専用の申込みフォーム(Googleフォーム)、または電話・FAXでお願いします。

●電話・FAX  
TEL: 086-201-5333  
FAX: 086-201-5676

受付窓口: 川崎医療短期大学 公開講座係

受付時間	平日	土曜日
	9:00～16:30	9:00～12:00

※FAXでお申し込みの場合は、参加希望日、申込者氏名・氏名ふりがな・電話番号をご記入のうえ送信してください。



専用申込みフォームはこちらから

## 2022年度 国家試験結果と進路状況

3月末に2022年度国家試験合格発表があり、結果は右表のとおりでした。教員の熱心な指導と学生の努力により全国合格率を上回る結果が得られました。

就職については、就職希望者112名全員が就職し、就職率は100%、進学については、私立看護系大学へ1名が進学しました。

医療介護福祉学科は、3年制課程への移行期のため国家試験受験生ならびに卒業生はいませんでした。

		看護学科
試験	看護師	
試験日		2月12日
合格発表日		3月24日
全国平均(%)		90.8
合格率(%)		<b>95.8</b>

## 新任教職員紹介

新しく本学の仲間になった教職員の方々を紹介します。

### 羽井佐 実 医療介護福祉学科 特任教授



医師として臨床現場で色々な職種、多くのスタッフの皆さんと関わってきました。学生の皆さんが在学中から卒業後に、医療・介護の現場で働き、学び続ける上で、「大切なこと」を考えるお手伝いができればと思います。

### 早間 久仁子 看護学科 助教



看護の視点から人に関わることの大切さを感じてもらえるよう、授業や実習を通して私も皆さんと共に成長できればと思っています。よろしくお願ひいたします。

### 横田 純子 医療介護福祉学科 助教



介護現場と教育現場において、介護福祉士として学生たちと関わってきた経験を生かし、皆さんがお互いに学び合い高め合える環境づくりと、教育並びに生活のサポートに尽力いたします。よろしくお願ひいたします。

### 高山 裕未 看護学科 看護実習助手



学生生活や実習のサポートをさせていただきます。皆さんが人間として成長し、看護師として羽ばたいて行く姿を見守りたいと思っています。一緒に頑張りましょう。

### 田中 尚 事務室 事務長



新しく清潔感あふれる校舎、挨拶がよくできる学生の皆さん、気さくな教職員の皆さん、私の川崎医療短期大学へのファーストインプレッションは◎でした。これから、学生の皆さんそして大学に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。

## OPEN CAMPUS 2023

2023年後期

オープンキャンパス/放課後キャンパスツアー 開催スケジュール

### オープンキャンパス

- キャンパスショーケース (川崎医療福祉大学(倉敷市)にて開催)

開催日時	
10月21日(土)	10:00～15:00
10月22日(日)	学園祭同時開催

- 合同オープンキャンパス (川崎医療福祉大学(倉敷市)にて開催)

川崎医療短期大学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院の	<b>3校合同開催</b>
開催日時	
3月24日(日)	10:00～15:00

### いってみよ!放課後キャンパスツアー

放課後にちょっと寄り道してみませんか。校舎内をご案内します。

開催日	
10月・11月の水曜日 (10/18、11/15は除く)	

- ◆16:00～17:00、17:00～18:00 各3組ずつ。予約はWebから。
- ◆詳細はWebサイトをご確認ください。問合せ先 ☎086-201-5333 事務室

## 編集後記

本学の前庭が完成し、「こもれびの校庭」と名付けられました。表紙の通り、まるで外国の公園を歩いているような気分させてくれる美しい校庭です。

私が「若きいのち」の編集に関わってから11年が経ちました。当時の天野 貴司編集委員長は、「広報誌の顔である表紙には、その時々医療短大のシンボルになるような渾身の1枚を、特集記事には、読者のニーズと時宜に合った特別な記事」をモットーに、編集委員それぞれが熱意と創意を持って取り組むよう求めておられました。「完成度」「精度」という言葉を何度耳にしたかありません。その後、医療短大と共に時代と改組の波をくぐり抜け、現在は「学報 若きいのち」になりました。変化の大きい11年ではありましたが、熊野編集責任者の下、これからも創意工夫を重ね、皆様に親しんでいただけるような誌面づくりに努めていく所存です。

末筆ながら、ご寄稿くださった学長を始めとする皆様方に厚く御礼申し上げます。

(看護学科 見尾 久美恵)